

令和2年3月16日

名古屋市長  
河村たかし 殿

## 新型コロナウイルス対策に関する要望書

名古屋南部地域医療連携推進協議会所属  
中京病院、名古屋掖済会病院、中部労災病院、大同病院  
南生協病院、名古屋記念病院、名古屋共立病院、新生会第一病院  
国立長寿医療センター、藤田医科大学ばんだね病院

病院長一同

日頃は、名古屋市の医療の質向上のために、ご尽力いただきありがとうございます。深く感謝いたしております。

現在、名古屋市内では、新型コロナウイルス感染症の集団発生（クラスター）が複数認められています。なかでも、名古屋南東部では、福祉施設を中心としたクラスターが認められており、高齢者、慢性疾患のある患者を中心に感染が拡大しています。新型コロナウイルス感染症は、これらの患者において、重症化率、死亡率ともに高いとされていますので、地域住民、医療関係者が一体となって拡大防止に努めるとともに、迅速かつ適切な医療を提供していく必要があります。

一方で、新型コロナウイルス感染症の診療にかかる人的、物的な負担は、これに対応する医療機関にとって相当に重く、クラスターという本感染症の特徴から、地域の医療機関だけで対応するのは難しい状況になっています。

また、誤った認識により、患者や医療関係者が差別的な扱いを受ける事例も報告されており、医療スタッフにとって診療上の身体的負担に加え、精神的負担も大きくのしかかっています。

上記のような現状をふまえ、名古屋市のより一層のご協力をお願い申し上げたく、名古屋南部地域医療連携推進協議会として、下記事項につきまして要望いたします。

## 記

1. 名古屋南東部以外の医療機関における患者受け入れを拡充し、一部の医療機関へ過度な負担がかからないよう調整いただきたい。
2. 愛知県内で新型コロナウイルス感染者に対応できる病床を増やし、感染者が円滑に入院できるよう調整を図っていただくこと、また全ての感染者を入院させることができない状態になった場合には重症者を優先して入院させる医療体制に速やかに変更することを愛知県に要望していただきたい。
3. 事業者、福祉施設、教育機関における患者の発生情報を迅速に医療機関に提供していただきたい。  
これにより、受診時に適切な感染対策を行うこと、有症状の接触患者の拾い上げを行うことが可能となります。
4. 医療従事者への感染を防ぐため、患者受け入れ医療機関に十分な个人防护具を配布いただきたい。  
現在、多くの病院で个人防护具の備蓄量が激減しており、新型コロナウイルス感染症の終息が遅れると、医療スタッフに危険が及びます。
5. 患者や医療機関が風評被害にあうことのないよう、患者や医療従事者のプライバシーに配慮し、市民に適切な情報公開を行っていただきたい。  
既に、報道された病院のスタッフの子供であると言うだけで、学校で不当な扱いを受けると言った事例が発生しています。